

独立行政法人国立病院機構  
**松江医療センター**  
**呼吸器病センター**  
 〒690-8556  
 松江市上乃木5丁目8-31  
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019  
 URL <http://www.matsue-medicalcenter.jp/>  
 発行責任者  
 院長 徳島 武  
 編集者  
 事務部長 亀崎 卓夫



**今年度の新採用者は全職種で27名です**  
 表紙の写真は希望あふれるフレッシュな看護師たちです。よろしくお願ひします。

**もくじ**

副院長に就任して	2	栄養管理室から 今年ちょっと豪華な花見寿司	7
統括診療部長就任にあたって	2	天理教による「ひのきしん」奉仕活動	7
医療教育研修室から-医療現場における『プロフェッショナル』考-	3	新和設備工業(株)の皆さんによる奉仕活動	7
ホスピタリティ向上研修	4	地域医療連携室だより 第1号	8
『看護の心をみんなの心に』看護の日の行事を終えて	5	日々の五行歌からのメッセージ	8
永年勤続表彰	5	松江医療センター元気宣言!	9
院長杯争奪ボーリング大会	6	しじみ会 (四月桜号 五月鯉のぼり号 六月紫陽花号)	9
互助会親睦会開催	6	外来診療表	10

**基本理念** 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。



## 副院長に就任して

副院長 矢野 修 一

平成22年4月1日付けで副院長に就任致しました。思えば平成7年8月に当院に赴任して早15年が過ぎようとしています。当時、呼吸器内科専門医は2名しかおらず多数の患者さんを抱えて大変だった事を思い出します。現在、呼吸器内科専門医は常時6名以上在籍しており呼吸器病センターの名に恥じない大所帯になりました。前職の統括診療部長という立場よりさらに病院全体を熟知し病院を発展させていかなければならない立場に就き、当院の特徴である呼吸器、重心、筋ジス、神経難病の4つの柱の充実と発展をさらに目指さなければならぬと再認識しております。また懸案であります管理・診療棟の早期着工のため、微力ながら尽力していきたいと考えております。

先日、米国胸部学会で松江市の姉妹都市でもあるニューオーリンズに行った際、カトリーナの再来かと思うような（私がそう思っただけかもしれませんが。）豪雨に遭遇し、2つの点で驚かされました。1～2時間のうちにあつという間に道路が冠水し、ホテルの入り口にまで汚水が押し寄せてきました。日本の雨とは比べようもない速いスピードで水位が増したため学会会場へ向かうシャトルバスに乗り込むためには靴を脱ぎ裸足で膝まで服を捲って汚水の中を歩かなければならぬような状態でした。にもかかわらずブランド品で正装した人たちが少々臭い水の中へ裸足で平気で降りていき、土砂降りの中を平然とバスまで歩いていきました。学会会場へ行くのを躊躇していた私達はこの潔さにはただただ敬服しました。



また2つ目は、5年前にこの地方を壊滅状態にまで追い込んだハリケーン・カトリーナの後、復興したはずのこの町がこんなにあつという間に冠水してしまっているのだろうかと思いました。啞然とする私達の横で平然と構えるホテルの従業員、さらには喜んでこの風景を写真に撮ろうとする客たちには驚きました。結局私達もこの光景を写真に撮ったのですが…。日本では災害後の対策がこのように甘いと、こっぴどく叩かれるのにアメリカ人のこの鷹揚な態度には驚きました。事ほど左様に、病院経営もアメリカ人のもつこのような鷹揚さとユーモアと日本人のもつ確実さ丁寧さ両方を兼ね備えれば理想だと変な所で感心しました。

さて、今後まずは、地域の皆様や開業医・病院勤務医の先生に対する当院の認知度をさらに高め少しでも頼りにして頂けるよう頑張らなければなりません。今後とも何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 統括診療部長就任にあたって

統括診療部長 池田 敏 和

このたび、統括診療部長に就任しました。現在放送されていますNHK大河ドラマ「龍馬伝」で俳優福山雅治さんが熱演されています“坂本龍馬”と同じ“土佐の高知”出身です。鳥取大学大学院修了後島根県内の病院で勤務していき、松江市内に転勤となり15年目、松江医療センターで勤務するようになって8年目になります。

ご存じのように、診療報酬の抑制や、医師、看護師不足が、医療機関の経営を圧迫していると言われていきます。医師不足・看護師不足になれば残りの職員はさらに過酷な労働負担となり、結果的に疲弊して病院を辞めるといふことになりかねないかと大変心配しています。そして、医療の現場は、「医は仁術」という精

神論や医師の心がけでは、もはや乗り越えられないところまできているのでは？と思います。医療の質と安全を確保するためには、一部の人間や、一部の部署の努力ではなく、組織的かつ継続的に取り組まなければならないと思います。

厳しい医療環境ではありますが、当院は呼吸器疾患、神経難病、重心、筋ジスに機能分化し専門医療を提供しているため専門分野における医療の質を更に高め、病診連携（病院と診療所の連携）を更に推進し地域医療に密着したいと思っています。

職員のご理解とご協力をお願いいたしまして、統括診療部長就任のあいさつといたします。

## 医療教育研修室から

## -医療現場における『プロフェッショナル』考-

呼吸器科医長・医療教育研修室長 門脇 徹



突然ですが、『プロフェッショナル』という言葉聞いて皆さんは何を思い浮かべますでしょうか？ある方はイチローのようなプロ野球選手、ある方は一級建築士のような専門性の高い職業人を思い浮かべます。またある方はNHKでやっていた、同名の番組を思い出すかもしれません…。私はこの『プロフェッショナル』という言葉が大好きです。私自身は呼吸器内科医ですので、常に呼吸器内科医として『プロフェッショナル』でありたいと思っています。

医療教育研修室は2年目を迎え、新人さんが講義に参加しやすい4～6月は特に精力的に講義を行いました。私も4月に講義をしましたが、その際に新人さんへのメッセージとして“『プロフェッショナル』であるというプライドを持って仕事をしてほしい！”という言葉を送りました。

それでは『プロフェッショナル』とは何でしょうか？特に医療現場における『プロフェッショナル』とは何なのでしょう？「プロフェッショナル原論（ちくま新書）」にその鍵となる箇所があったのでご紹介したいと思います。この本によると、『プロフェッショナル』の形態的要件とは以下の3要件です。

- ①きわめて高度な知識や技術に基づいた職能を有している
- ②特定のクライアント（顧客・依頼人）からの特定の依頼事項を解決する
- ③職業人として独立した身分

著者は公認会計士ですので、この3要件がそっくりそのまま我々医療人にあてはまるとは思いませんが、土台にするには非常に素晴らしい定義だと思います。一つ一つ検証してみましょう。

まず、①の高度な職能の保有について。これは言うまでもありません。著者は『プロフェッショナル』においてこの点が最重要事項と指摘しています。私も全く同感です。医療にかかわる職種は知識・技術・情報の保有・更新・レベルアップが極めて重要です。それぞれがレベルアップをすることが基本なのですが、チームとして医療を行うという点では、知識・技術の“標準化”即ち病院全体としてある程度のところまでの介入（教育）が必要と私は考えます。この点がまさに医療教育研修室の業務がfitするところだと考えているのです。

次に②特定のクライアントの問題解決についてです。これには患者さんの問題点を解決するためにそれぞれの職種

で考え、行動する必要があります。その共通命題は『患者さん・家族がhappyになるにはどうしたらいいのか？』ということではないでしょうか？この命題解決に向けて“仕事”をしなくてはならない、そう考えます。

最後に③独立した立場という点について医師を例に挙げて考えてみましょう。医師は最も古い歴史を持つ『プロフェッショナル』な職種と言われています。医師は医療行為を一人である程度～かなりのところまでは行えます（ある程度～かなりのところ、と記したのがポイントです！）。医療系職種・業務は科学技術の進歩に伴って細分化・専門化しており、現代の医師は様々な職種との協力・助言なしでは医療を一人で完結することができなくなっています。医師は自ら指示を出すことができ、医療行為を施すことができる、という点では独立した身分ですが、病院の組織形態に応じた行動をしなくてはならないという点、そして上記の点を併せて考えると、“独立した身分”ではもはやなくなっているのです。ここでは医師を例に挙げましたが、私は医師だけではなく医療系他職種も同様であると考えます。今年の当院のテーマは「チーム医療の推進」です。専門性の高いそれぞれの職種が手を取り合って“仕事”をしていく…。これが「チーム医療」であり、医療現場における『プロフェッショナル』の1要件と考えるのです。

これらを元に『プロフェッショナル』の形態的3要件について医療現場でふさわしくなるように私なりに考えてみました。

- ①それぞれの職種において高い知識・技術・情報を有し、常に更新する努力を続ける。
- ②『患者さん・家族がhappyになるために』を共通命題とし、解決に向けて行動できる。
- ③それぞれの職種において①ができることが前提となり、職種間でコミュニケーションを密にし、②がクリアできること。

こうして見ると、しつこいようですが、やはり①が最も重要です。②・③ができることは医療人としても病院としても非常に重要なことですが、①の高度な職能を欠いては、『プロフェッショナル』ではないのです！

医療教育研修室は①を応援する部門です。コンセプトは…『スタッフ教育に関してコーディネーターであり、かつ知識・技術向上のためのプロデューサーであること。』です。職員の皆様がお忙しいことは百も承知です。さらなるレベルアップにぜひ、医療教育研修室の講義・研修をご利用ください！ご意見・ご質問等あればいつでも何でもお願いいたします！



# ホスピタリティ向上研修

鳥取大学医学部高塚人志准教授を講師としてお招きし、5月7日（金）に新人職員を対象としたホスピタリティ向上研修を開催しましたので受講生の中からその感想を聞いてみました。



## ホスピタリティ向上研修に参加して

3階病棟 看護師 田中裕美子

研修では、自分の普段のコミュニケーションを振り返りながら、相手に自分の情報や気持ちを言葉にして伝えていくことの難しさ、話し手の気持ちを膨らませる聞き手の表情や相槌などの大切さ、感謝の言葉、挨拶、謝罪といった当たり前のことをおろそかにせず、誠実に相手に向き合っていくことの大切さなどの気づきを、様々なプログラムを通して体験しました。その中で、相手に関心を持って関わることで、その人の表情やしぐさに表れている感情に気づくことができ、その気づきを、相手と考えや気持ちを分かち合えるような言葉かけや援助につなげることができると学びました。患者様やそのご家族の方々とかかわりの中でも、常に関心を持ち、理解しようと努力していきたいと思えます。そして、日常の些細な変化にでも気づいて、気持ちに寄り添い、不安や疑問、悩みなどに対して自分から声をかけることのできる看護師になりたいと思えました。

## ホスピタリティ向上研修に参加して

2階病棟 看護師 花岡 麻衣

今回私は、5月7日に行われた新人職員研修『ホスピタリティ・マインドあふれる医療人になるために～仲間と気づき学ぶ「こころのコミュニケーション」～』に参加させてもらいました。研修では2～4人のグループをつくり、様々な体験を通してコミュニケーションについて学ぶことができました。高塚先生には、コミュニケーションにおいて重要なことは、お互いの考え・気持ちを理解しあうことであり、そのためには相手に関心を持つことが大切だと教えていただきました。また聴く力や察する力、言葉遣いなどもコミュニケーションには欠かせないことだと学びまし



た。看護を行っていく上で、コミュニケーションは不可欠であり、今回の研修で学んだコミュニケーション技術を、実際に普段の生活にも取り入れ、私自身もホスピタリティあふれる人になっていきたいと思えます。今回講師をしてくださった高塚先生、またこのような研修を設けてくださった徳島院長にとっても感謝します。

## ホスピタリティ向上研修の感想

1階病棟 看護師 林 千鶴

高塚先生のホスピタリティ研修に参加して、講義を受けるまで私は、ホスピタリティの本当の意味を知らなかったように思いました。講義の中でペアを組み、提示された図形を電話で伝え合うというを行ない、「聞き手」「話し手」の双方の立場になり、聞き手に伝えること、話し手からの情報を理解することの難しさを体験しました。このやりとりから、コミュニケーションに一番大切なことは、自分の立場だけでなく、相手の立場に立って相手のことを考えるという気配り・思いやりだと改めて学ぶことができました。また、先生は全力投球で講義して下さり、相手と真剣に向き合う事の大切さを知ることができました。



私は4月から看護師として働いていますが、患者様との関わりについて振り返ると、自己のホスピタリティ能力には未熟な部分があるように感じました。高塚先生は、今までの関わりや出会いによってホスピタリティ能力が培われていくと話されていました。私も今までの出会い、これからの出会いを大切にして自己のホスピタリティを養っていききたいと思えます。

## ホスピタリティ向上研修に参加して

臨床工学技士 森澤 翠

5月7日に鳥取大学医学部総合医学教育センター学部教育支援室の高塚人志先生をお迎えしてホスピタリティ向上研修が開催されました。この研修では気づきの体験学習と題してコミュニケーションについて考えることを目的とし、講義のほかにも体験も交えて高塚先生にご指導していただきました。

最初は少し緊張していた研修でしたが、グループをつくり協力して課題をこなしていく場面が多くあり、他の職種の方とも打ち解けることが出来て楽しい研修となりました。

この研修を通して日常の挨拶や感謝の言葉などの些細な一言でもコミュニケーションの一つであると実感しました。そして日頃の自分を振り返り、十分なコミュニケーションがとれていなかったと反省する良い機会になりました。今後の病院業務はもちろん日常生活においても、いつでも相手の言葉に耳を傾け、相手を思いやる気持ちをもって接していきたいです。

# 『看護の心をみんなの心に』看護の日の行事を終えて

看護の日実行委員会 小山 恵

今年も「看護の日」にちなんで行事を行いました。昨年に引き続き院外行事として、スーパーマーケット「みしまや上乃木店」で開催しました。院外での実施が4年目となるため、さらなる工夫をと課題をいただいていたので、委員会で知恵を絞りました。実施時間、場所、内容など検討した結果、『看護に関することを加えよう』『会場をにぎやかにしよう』ということになりました。

さて、当日。5月13日は好天に恵まれました。副看護部長さんの「私雨女なのよ・・・」のジンクスはどこへやら…。9時から店舗前をお借りして準備開始、9時40分には最初の来場者が…それから12時までの間70名余りの方の来場がありました。実施内容は、例年行っている血圧測定、骨密度測定、体脂肪測定、医療相談、栄養相談、それに加え今年が目玉「お肌つるつるハーフビネガー体験」でした。ハーフビネガー体験をされた方からは、「いいことを聞いた、家でもやってみよう」との言葉がきかれました。また、「今年は何時かしらと思ってました。」と言われ、地域の人たちに、この時期、この場所と期待されているように感じました。



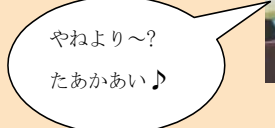
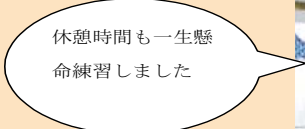
会場周囲には風船を飾り、テントを張っていただきました。(事務部の方々の見事な手つきで) そのおかげで、イベントという雰囲気が盛り上がりました。

病棟集約により実行委員の人員が減った中、各部署の方々の協力により盛大に行事を終了することができました。

院内行事としては、5月12日に、入院患者さんに受け持ち看護師がメッセージを書いたカードをお渡ししました。重症病棟では、メッセージカードのかわりに「鯉のぼり」の唄や、リコーダーの演奏を披露しました。



こんなカードをお渡ししました。  
4F 勝田 聖子作



只今演奏中で一す♪

## 永年勤続表彰

国立病院機構理事長による永年勤続表彰の伝達式が、4月19日(月)に会議室において行われ、院長から表彰状と記念品の銀杯が一人ひとりに授与されました。伝達式の後、院長から長年の勤務に対するねぎらいの挨拶がありました。表彰された方々は、次のとおりです。

### 30年以上

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 経営企画室長 山根 邦夫  | 療育指導室長 吉岡 恭一 |
| 契約係長 清水 誠忠    | 副看護師長 矢島 玲子  |
| ボイラー技士長 木下 光司 | 看護師 石倉 春枝    |
| 副洗たく長 直江 進    |              |

### 20年以上

- |              |
|--------------|
| 副療養介護長 吉田 孝子 |
| 看護師 山本 利子    |



## 院長杯争奪ボーリング大会

管理課 庶務係長 山本 隆 弘

4月14日に松江医療センター恒例「第4回 院長杯争奪ボーリング大会」が開催されました。参加人数は総勢50名！今回のボーリング大会は、今年採用された看護師が多数参加した為、これまでのボーリング大会の中でもっとも参加人数が多く、活気のあるボーリング大会となりました。



前回大会の優勝者は薬剤科の幸吉主任です。前回の幸吉主任のスコアは200アップ！他に追従を許さないハイスコアで、ぶっちぎりの優勝でした。今回の大会で、誰が幸吉主任のV2を阻むのでしょうか！

ボーリング大会は、いつものように院長の始球式とともに開催されました。1ゲームしか行いませんので1球たりとも、気を抜けません。私は事務部長から、優勝杯を事務部に持ち帰るよう言われておりましたので、かなりプレッシャーを感じて投げておりました。

しかし結果はふるわず…。事務部長、ふがいない結

果ですみません。私ごととはもかくとして、今回の優勝は…またも幸吉さん！V2達成です！

院長が自腹をはたいて購入した、まばゆく輝く優勝杯は、薬剤科に飾られていると思いますので是非ごらんください。

ボーリング大会が終われば毎回恒例親睦会です。場所は松江駅前の「だん」でした。広めの店を探したつもりでしたが、50名も入るとなると寿司詰め状態です。乾杯後、しばしの歓談の後、新人職員の自己紹介を行いました。恥ずかしそうに自己紹介を行う姿はなかなか初々しくよかったです。親睦会は終始、なごやかな楽しい会となりました。

他部署も含め、みな仲がよいのが松江医療センターのよいところです。この文章を読まれて興味をもたれた方、是非次回ボーリング大会にご参加ください。

ちなみに次回幹事は、有福 雅光、羽手原 美保、森下 亜希さんです。是非次回のボーリング大会を成功させてください！

## 互助会親睦会開催

管理課 給与係 地田 浩 二

桜の季節が終わりはじめた4月19日、21日、23日に新しく互助会員になった職員の歓迎会を兼ねた「互助会親睦会」が行われました。



当院に就職して8年目になる私は当然のごとく役員として受付・進行に携わりました。(料理をゆっくり堪能したことがない…)

さて、なんといっても今年の親睦会はひと味違います！というのも全職種合わせた新採用者がなんと27人という当院にとっては例年になく大量採用となりました。(給与担当としましてはてんでこまいでしたが…)

互助会長であり飲み比べをしたら右に出るものはいない徳島院長も張り切り、なんと3日間すべて出席という荒技を達成しました。(あいだの日はOPをこなしながら…とても敵いません)

私は1日目に出席しました。まずは院長挨拶のあと三宅看護部長の音頭で乾杯。その後しばし歓談となり、恒例の新人挨拶を行いました。(異動者も含む)。今回は一人ずつ前に出てもらい自己紹介をしてもらいまし

た。みなさん三者三様の自己紹介をして盛り上がりました。

新人紹介がおわり、さぁ飲むかと思ったら院長が「1日目は人数が少ないから新人以外の人も自己紹介してもらおう！」と突然の提案(業務命令?)が出て、急遽全員自己紹介となりました。

在職者も新人に負けじとみな個性的な自己紹介でこれまた盛り上がりました。

そんなこんなでホテルのビール全部なくなるんじゃないかくらいの勢いで酒が進み、お開きの時間がきて亀崎事務部長の音頭による締め乾杯をしてお開きとなりました。

私はという最後まで残り忘れ物がないか確認し送迎バスを見送ったあといま話題の映画「RAILWAYS」で有名な「バタデン」にて帰路につきました。



親睦会は新人職員にとっても他の職種と話せるいい機会となったと思います。これを機にコミュニケーションをどんどん深めていってほしいと思います。

栄養管理室  
から

## 今年はちょっと豪華な花見寿司

栄養管理室 大河内 友 美

毎年4月上旬に花見寿司が献立に登場します。桜の満開とお寿司の日が重なることを祈りつつ献立を考えます。（まるで賭け事をしているような感じでもありますが…）

残念なことに、今年は私の桜開花予想はピッタリと的中しなくて桜七分咲きの頃に花見寿司登場となりました。

ただ、昨年よりもお寿司の具材を2品増やし、ちょっと豪華な花見寿司に仕上げってみました。来年は、満開の桜を見ながら食べていただけるように、勘を磨きます！



## 天理教による「ひのきしん」奉仕活動

毎年の恒例行事となっている天理教の奉仕活動「ひのきしん」が今年も昭和の日である4月29日に行われ、草刈り作業をしていただきました。当日は晴天で大きなトラブルもなく、約400名の天理教の皆さんによる組織的な草刈り（写真参照）できれいになりました。ありがとうございました。



## 新和設備工業㈱の皆さんによる奉仕活動

社会貢献の一環として奉仕活動に積極的に関与されている新和設備工業㈱（松江市平成町）さんから今年もボランティア活動の申し入れがあり、5月29日（土）に屈強な男性社員15名により施設内の空調設備のフィルター清掃をしていただきました。丁度冷房の時期に差しかかるときであり、てきぱきと作業をこなしておられました。お陰さまで冷房の運転に入ることができます。ありがとうございました。



# 地域医療連携室だより 第1号 2010年7月

## 体制が新しくなりました ご紹介します

今後とも地域と病院の懸け橋となり患者さんに少しでも安心して医療サービスを受けて頂ける環境作りに努めて参りたいと思います。



平成22年4月当院桜の木の下で  
(写真左から内田・矢野・小山・来海)

松江医療センター  
地域医療連携室メンバー

矢野室長 副院長併任  
内田係長 主に前方連携  
小山副係長 主に後方連携  
来海事務員 前方連携・事務一般

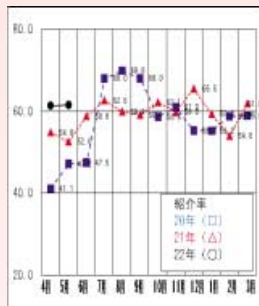
迅速・丁寧な対応を目指しています。



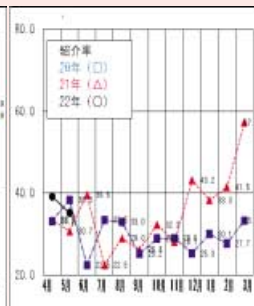
当院への患者さまをご紹介いただく際の「予約票」が変わりました！！  
当院ホームページからもダウンロード頂けます。  
アドレスはこちらです↓↓  
<http://www.matsue-medicalcenter.jp/medical/renkei/>

### データーに見る地域医療連携室の活動について

紹介率の推移



逆紹介率の推移



### 退院支援

毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています。

	4月	5月
退院先	32人	33人
在宅	7人	9人
施設	0	2人
病院	3人	3人

当院は呼吸器病センターという特徴から酸素や吸引等医療依存の高い患者が多くそのため施設への受け入れが難しく、病院への転院調整が多いが現状です。

### 大田医師会勉強会のお知らせ

大田地区の先生方との交流を深める目的で開催いたします。  
日時 平成22年7月21日(水) 19:00~20:30  
会場 プラザホテルさんべ 大田市大田町大田昭和町イ76-6  
講演 結核について 矢野修一 副院長  
非結核性抗酸菌症 小林賀奈子 内科医長  
結核・非結核性抗酸菌症の外科的治療 荒木 邦夫 外科医長

## 日々の五行歌からのメッセージ

2階病棟 看護師 稲田 真由美

早いもので今津泰三さんを見送ってから一年が経ちます。この本を手取るたびに天井から吊るされたパソコン画面に向かう彼を思い出します。彼は、筋ジストロフィーにより、ベッドから起き上がることもできませんでした。が、わずかに動かせる唇、指先で、日々詩歌を詠んでいました。体調が良いときは、10時過ぎからされていました。極わずかな微妙なズレがあってもなかなかマウスが思い通りに動かないため、セッティングすることに、こちらが慣れるまでは、かなり時間がかかりました。そのぐらいの数ミリ単位のタッチに精一杯の思いを込め、詩歌を詠んでいたのです。ブログから本になり、ひとつの形あるものになりましたが、そこには彼の精一杯生きていた証を知ってほしいという家族の思いがありました。長期入院を通して、故郷隠岐・家族への思い、病室の窓から見える移り変わる四季、テレビから得られる社会情勢や自然環境、そして私達医療スタッフへの思いがこの



本に詰まっています。私達に伝えたいあの日、あの時、あの場面を大切な五行の詩歌にしたためていたのです。私たちはどれぐらい彼の想いを受け取ることができていたでしょう。

実際、日々忙しく走り回る私たちに、自分の心のことはなかなか伝えることはできなかったでしょう。しかし、彼は、詩歌に込めて、私たちに日々見失いがちな大切なことを教えてくれていたのです。五行歌に込められている彼の想いを受け取る私たちの感じ方は様々ですが、生きることをもって私たちに残してくれたことばに嘘はありません。

あれから彼のブログの更新はありません。でもきっと大好きな隠岐の青い空の下で私たちに「精一杯生きる」というメッセージを五行の詩歌に込めて配信しているでしょう。



# ●●● 松江医療センター元気宣言！ ●●●

## 熱い思いをのせた交流試合

児童指導員 有吉博史

「第2回松江コンビック対岡山ヴィゴールの交流会」が5月30日に開催されました。今回の交流会の目標は、「勝利」です。開催に至るまでには、紆余曲折様々な問題やトラブルがありましたが、選手自身が全て企画・会場調整・保護者への連絡などを行い、交流会までこぎつけることができました。

さて、交流会当日ですが、日頃から選手とかかわりを持っている職員や保護者などたくさんのサポーターが集結!!熱気溢れる会となりました。先制点は、岡山ヴィゴールで、駆けつけた松江コンビックのサポーターからはため息が漏れました。前半戦を終え目標の「一勝」への黄色信号がとまり始めていました。しかし、選手の勝利への熱い思いは消え去ってはいなかったのです。後半戦開始早々、サポーターの前を颯爽と走り過ぎていくコンビックの黄色のユニフォームがありました。その直後、コンビックのユニフォームを着た選手とボールがゴール角



に吸い込まれた。今回の我がチームの初得点です。あっという間の得点劇でした。怒涛のような拍手と共にサポーターのボルテージは最高潮に達しました。俄然盛り上がってきたサポーターの後押しをうけその後も得点を重ねま



した。結果として、3対2で負けてしまい目標とした「勝利」はなりませんでしたが、大いに日頃の練習の成果が出た試合となりました。また、その後両チーム混合での試合をしましたが、そこでも、コンビックメンバーの得点がいくつも生まれ、選手それぞれが大いに交流会を楽しむことができました。

今回の交流会では、同じように障害を持った選手同士、互いにいい刺激にもなりましたし、松江コンビックにとっては今後繋がる素晴らしい交流会になったと思います。最後に彼らが行っている車椅子サッカーを広く理解していただきたいということで、7月18日に松江医療センターの体育館で車椅子サッカーの体験会を計画していますので、ご都合がつく方は参加していただけるとうれいです。

## しじみ会 (四月桜号五月鯉のぼり号六月紫陽花号)

リハビリテーション科 作業療法士 三井貴史

- |                             |                              |
|-----------------------------|------------------------------|
| ・目が覚めて 笑顔微笑む おぼろ月<br>となりの住人 | ・まな娘 シジミ供えて 福祈る<br>松谷さん      |
| ・鯉のぼり 今はみんなと 河川敷<br>やどかりさん  | ・古池や ひそと睡蓮 杜若<br>けん一さん       |
| ・母の日にせめて墓前にカーネーション<br>永島さん  | ・ストーブつけ 五月なのに まだ寒い<br>みーさん   |
| ・母鳩は 子離れできず 餌はこび<br>[K]さん   | ・満開の 空と笑顔の 男道<br>かとさん        |
| ・雨風に 耐えて日の目の 木の芽かな<br>京の静さん | ・雪が溶け 春に一步近づつ おとずれを<br>句湖人さん |
| ・五月晴れ 弥生の森の 丘に立ち<br>白イルカさん  |                              |

外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成22年6月1日～

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科	曜日	矢野	小林	木村	門脇	池田	【呼吸器内科】 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 若林 規良 石川 成範 【副院長】呼吸器一般・アレルギー 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般・アレルギー 呼吸器一般
		若林	若林				
循環器内科		石川				石川	【循環器内科】 石川 成範 循環器内科一般
消化器内科		三原				石原	
神経内科			下山		足立芳樹		【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二 神経内科 神経内科・リハビリテーション
外科		徳島		目次		荒木	
小児科	発達専門外来	久保田(予約)	齋田(予約)	齋田(予約)	久保田(予約)	齋田(予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 重度心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
	予防接種		(予約)				
特	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【外科】 徳島 武 目次 裕之 荒木 邦夫 足立 洋心 中井 勲 【院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術(肺がん・自然気胸他) 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
	睡眠時無呼吸外来				呼吸器科担当医(予約)		
殊	喘息アレルギー外来			呼吸器科担当医(予約)	呼吸器科担当医(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 【麻酔科】 木下 謙 重度心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害 麻酔科標榜医・一般外科
	咳嗽外来			呼吸器科担当医(予約)	呼吸器科担当医(予約)		
外	禁煙外来				若林 第2・4木曜日(予約)		【麻酔科】 木下 謙 麻酔科標榜医・一般外科
	アスベスト外来			呼吸器科担当医(予約)	呼吸器科担当医(予約)		
来	嚔下障害外来		下山(予約)				診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 7:30~11:00
	神経難病外来		下山		足立		
その他	筋ジストロフィー専門外来				下山(予約)		独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661
	セカンドオピニオン外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

特 殊 外 来	小児科発達専門外来	診療日：毎週月～金曜日 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけ、などの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～16:30 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,250円(+喀痰検査6,300円税込み)
	睡眠時無呼吸外	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週水・木 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息・花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週水・木 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く、咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：第2・4木曜 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を志す方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週水・木 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	嚔下障害外来	診療日：毎週火曜日 8:30～ 嚔下障害外来 (要予約)
	神経難病外来	診療日：毎週火・木 8:30～ 神経難病外来
筋ジストロフィー専門外来	診療日：毎週木曜日(予約=指導室まで) 8:30～ 内容と特色：筋ジス病棟医が診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院(筋ジストック)も受け付けています。	
セカンドオピニオン外来	診療日：完全予約制 紹介状必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当致します。	